

公益社団法人鳥取県栄養士会 第9回 定時総会開催

令和3年5月30日(日)倉吉交流プラザにおいて、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、書面表決(定款第4章総会第19条 書面表決等に基づき)にて開催されました。

前日29日書面表決集計は2名の立会人の下で、役員等選挙投票集計は選挙管理委員会3名の立ち合いの下厳正な集計作業を実施、前日までに到着分164名(令和3年3月31日現在正会員数232名)正会員の70.7%。定款第18条 決議『総会の議決権は総会員の議決権の過半数を有する正会員が出席し、出席した当該正会員の議決権の過半数を持って行う』に従い、本定時総会の成立宣言を行い開会されました。

詳細は鳥取県栄養士会ホームページに記載しております。



令和3年度 公益社団法人鳥取県栄養士会 第9回定時総会結果

〈議案〉

第1号議案	令和2年度事業報告	賛成 164名	反対 0名	無効 0名
第2号議案	令和2年度収入支出決算報告	賛成 164名	反対 0名	無効 0名
第3号議案	役員等選任について	賛成 164名	反対 0名	無効 0名

〈結果〉

全ての議案について、過半数の賛成をもって可決されました。

以上

嚥下調整食の研修会を開催しました！

令和3年7月3日(土)に医療・福祉事業部主催で『聞いて納得、見て解決！ 嚥下調整食まるわかり講座』を開催致しました。

嚥下調整食は、現在の医療や介護福祉分野では対応しなければならない業務であり、さらに他施設との連携も必要となっております。そこで全国でも同じ内容で講演会が予定されている内容を、先駆けて聞かせていただきました。

第1部『嚥下調整食2013の理解と運用』と題して(公社)日本栄養士会常任事業推進副委員長の宮崎 純一先生より講演していただきました。現場目線での詳しくわかりやすい解説・優しく語りかけられる説明に参加者からは、『本当にわかりやすかった』『ハードルが高いと思ったができることから取り入れていけばいいというお話でできそうに思った』など前向きな感想を多くいただきました。

第2部は、『嚥下調整食を理解して食の連携につなげよう』と題し、株式会社フードケアの在川シェフより、手元カメラを用いての調理実演を見ながら解説していただく内容でした。

参加者42名のうち会員外10名・県外会員は4名と多くの方に参加していただきありがとうございました。

この研修会はイベントベイという管理システムを利用して行いました。鳥取県栄養士会では初の試みでしたが、滞りなく利用することができました。これも前委員さんたちのご尽力のおかげで大変感謝しております。同時にご協力いただきました、さんれいフーズ様・フードケア様にも厚く御礼申し上げます。





代表理事

(公社) 鳥取県栄養士会
会長 福田 節子

昨年度・今年度と2年間新型コロナウイルス感染対応に追われて全員が集まるのが難しく令和2年度・3年度の総会の全てを書面表決にて行いました。お陰様で無事開催することができました。心よりお礼申し上げます。

さて会長を拝命して3期目を迎えております。引き続き今後の2年間に向けての目標をお示ししたいと思います。最初に次の世代に引き継ぐ準備を始めてまいりたいと思います。

そのためにはまずは人材確保、魅力ある鳥取県栄養士会を皆さんと共に具体的に考えていきたいと思っております。人材確保について一番の問題は理事が任期終えるころに理解できるこれからという時に交代を繰り返しています。これでは先に進めません。ある程度継続して担当して下さるようお願い致します。そのため、会員の皆様の協力が不可欠です。

次にWeb開催などの新しい研修会の在り方を具体的に考える必要があります。オンライン研修会やZoomでの会議についてはすでに経験しておられると思います。本会も今年度は8月27日に中国四国会長会を鳥取県がホスト県としてZoomでのWeb会議を無事に開催できました。さらにこの波に乗るべき対策として、ライブ配信、ハイブリット方式などの準備など、さらにオンデマンドの検討も進めております。多くの会員の皆様が気軽に参加できるように体制を整えていく予定です。

最後に入会して下さった会員も大勢いらっしゃったのですが残念ながら退会者が多く会員数が伸び悩んでいます。会員増対策は早急に取り組むべき課題と考えております。

今後も会員の皆様のため、県民の皆様のための栄養情報などを常に発信できるよう頑張る所存です。会員の皆様の益々の力添えを切にお願い致します。

理事

東部



東部地域部長
地域活動部長
高野知加(地)



学術部長
医療部長
永原祐子(医)



会費係
小倉久美子(福)



健康支援部長
坂口真里(公)

中部



副会長
中部地域部長
船原千恵子(病)



調査研究部長
公衆衛生部長
森本美由紀(公)



会計係
藤原佐智(福)



業務執行理事
総務部長
小田 秀(地)

西部



副会長
災害対策部長
学校健康部長
石原由喜子(学)



広報部長
福祉部長
梶野明子(福)



開発部長
米田理恵(公)



食のみやこ
渡邊由美(福)



西部地域部長
白岩幸水恵(医)

監事



外部監事
鳥取大学名誉教授
石川行弘



内部監事
礪江祐治(医)

(日栄) 代 議 員



福田節子(地)



平田早百合(地)

専門事業部の運営委員紹介

◎…部長

〈総務部〉



大西陽子〈東部・医療〉



田中敬子〈東部・医療〉



◎小田 秀〈中部・地域〉



林本加奈枝〈中部・地域〉



星野記史〈西部・学校〉



山上孝代〈西部・医療〉

〈広報部〉



奥田のぶよ〈東部・地域〉



徳田 綾香〈東部・医療〉



野津あきこ〈中部・研究〉



宇山泰代〈中部・研究〉



◎榎野明子〈西部・福祉〉



奥田さわみ〈西部・福祉〉

〈学術部〉



◎永原祐子〈東部・医療〉



田中成美〈東部・医療〉



衣川郁子〈東部・福祉〉



亀井由美子〈中部・医療〉



福井富美代〈中部・勤労〉



村上康恵〈西部・公衆〉



佐藤一美〈西部・医療〉



足立由里佳〈西部・福祉〉

〈健康支援部〉



◎坂口真里〈東部・公衆〉



森下恵子〈東部・地域〉



門脇由季〈中部・医療〉



砂原絵里〈中部・医療〉



白岩幸水恵〈西部・医療〉



渡辺一佐子〈西部・公衆〉

〈調査研究部〉



河原千明〈東部・医療〉



澤 裕子〈東部・医療〉



◎森本美由紀〈中部・公衆〉



船原千恵子〈中部・医療〉



三嶋 碧〈西部・福祉〉



井田優也〈西部・学校〉

〈開発部〉



磯部紀子〈東部・地域〉



山根佳恵〈東部・地域〉



川本 萌〈中部・勤労〉



新 倫子〈中部・学校〉



◎米田理恵〈西部・公衆〉



長尾静奈〈西部・福祉〉

〈食のみやこ〉



谷口圭子〈東部・地域〉



横尾由佳子〈東部・福祉〉



河本順子〈中部・地域〉



山中珠美〈中部・研究〉



◎渡邊由美〈西部・福祉〉



板持陽子〈西部・福祉〉

〈災害対策部〉



岡本英津子〈東部・医療〉



雲田奈央〈東部・公衆〉



岩山美由紀〈中部・公衆〉



山本恭子〈中部・地域〉



◎石原由喜子〈西部・学校〉



段塚万琴〈西部・公衆〉

令和3・4年度 専門事業部名簿

	東 部		中 部	西 部	
学術部	永原 祐子 衣川 郁子 田子 奈央 田中 成美		亀井由美子 亀崎 幸子 福井富美代 市村 満栄 福市 有香	堀部 朝子 村上 康恵 足立由里佳	佐藤 一美
健康支援	坂口 真里 森下 恵子 福田 節子 福田 幸子 林 幸子 田口千枝子 平石 依里 能勢 司 西田茉瑠乃 横川恵理子 岡本 仁重 重親小百合 山元 真雅 山根 桜子 河上 愛美 國廣 美咲 田中 絢奈 福本 紘子 錦見 瑠美	五十嵐美咲 前田 記子 田村勢都子 田村 真穂 藤原 麻琴 井上 幸子 陰山 和那 鈴木 宏枝 長谷川恵梨 森井 香織 山本和香奈 谷口 知世 西村 優子 中田 陽子 田渕 万貴 藤岡 美歩 天野 悠貴	門脇 由季 塚本 英子 谷口 志保 衣笠 光美 岩崎 智子 山田 美穂 岡 祐子 小笹 泰子 本川 和恵 三浦富美子 石賀 順子 中井 清恵 福本 真代 谷口 広恵 佐古菜奈子 鈴木 郁恵 米原 千晶 砂原 絵里 前田 美鈴 花木由起子 杉本美智子 中山美津江	吉元由佳里 阿部 暁子 真壁八重美 松本さつみ 高橋千津子 堀 徳江 白岩幸水恵 持田 一恵 村家 美幸 足立 元太 松本真紀子 仲石 康子 山上 孝代 山本美津子 山田 恵 高梨 桂 高野由利子	長田 苑子 花田 温子 杉谷裕美子 禰屋 真実 岩本 紗季 三隅智加子 藤原 恭子 岡田とよ子 柳楽 杏奈 坂本 秀美 深田 育 渡辺一佐子 三穂野亜由美 權代 恭介 藤岡 怜子 吾郷美紀枝
総務部	大西 陽子 田中 敬子 横野恵美子 山本 夕子		林本加奈枝 山田 恭子 西谷留美子 林原 治子	星野 記史	
災害対策部	岡本英津子 米本 里絵 雲田 奈央 田中 美奈 坂根 良和 山本 千幸 小倉久美子 岡本 有美	相本 優美 楮原 陽子 由木留美子 柴田 理江 小林 弘子 前田 祥子 横尾由佳子 田村 裕子	岩山美由紀 豊島 久子 山本 恭子 刈田 朱音 山本 宏子 中田 律子 山本 優香 山島恵美子 前田 夏穂	石原由喜子 段塚 万琴 平田早百合 本多 千鶴 東原 真鈴 亀川 祥子 田邊美加代 岩坂 美和 中村 綾沙	西本三由紀 渋谷 美樹
調査研究部	河原 千明 松岡 未沙		森本美由紀 船原千恵子	星野佳菜恵 井田 優也	磯江 祐治 三嶋 碧
開発部	山根 佳恵 磯部 紀子 谷口 圭子		杉谷 陽子 河本 順子 川本 萌 門原美保子 山中 珠美 新 倫子	渡邊 由美 角 淳子 板持 陽子 野坂 祥子 長尾 静奈	
広報部	奥田のぶよ 宮崎 典子 溝口 麻衣		米田 真美 野津あきこ 宇山 泰代	榎野 明子 奥田さわみ	

ここに名前が掲載されていない方は事務局までご連絡ください

トピックス まちなりの有名人

産後ママの 身体と心をケアする

「産後ケアとっとり」 代表

本家 勇子 さん

◆50年近くの経験を生かして

産後の育児不安のケア、母乳育児の指導に携わってきました。今年4月「本家助産所」の中に核家族化や社会情勢の影響もあり子育てに不安を抱える方に寄り添いたい。そんな思いから立ち上げました。

◆家族をサポート

近年、相談する人がいなくてネットの情報を頼り過ぎる方も増えて来ています。もっと身近で相談できる存在と頼れる場所が必要です。家庭では周りの家族の役割も大切です。家族皆様が安心して子育てできる環境づくりをサポートします。

◆小中高生からの学習を

男女ともに赤ちゃんを迎え育てていく意義を養うためにも小さなうちからの教育が必要だと思ひ、いのちの大切さを伝える出前教室を幅広く行っています。



◆栄養指導に携わる栄養士の皆様へ

母乳による食事と一般人にとってよい食事は少し違います。赤ちゃんは味覚がしっかりしています。母乳は食べたものが影響してきます。白米中心、野菜、白身魚などを摂るようにアドバイスしています。健康に配慮した食事のことを考える機会にぜひして欲しいですし、家族の健康へとつながって欲しいです。

◎産後ケアとっとり

〒689-1102 鳥取市津ノ井615

☎0857-37-4343 (ホンケ) 予約制です。

<https://sangocare-tottori.com>

令和元年、母子保健法の一部が改正され、産後1年を超えない女子及び乳児への産後ケア事業の実施が市町村の努力義務として法定化されました。産後ケアには、栄養部門も重要です。専門職の連携が実施され、利用者目線に立った一貫性・整合性のある支援の実現に期待します。(奥田)

現場レポート

のぐち内科クリニック

山田 美穂 さん

◆業務内容

クリニック内での栄養指導が主な業務です。内科・腎臓内科・消化器内科・人工透析内科があり、腎臓病(保存期・透析)、糖尿病、脂質異常症などの食事療法について患者さん及びご家族への指導を行っています。

◆職場で力を入れていること

限られた栄養指導時間が、患者さんにとって価値的な時間になるように、指導媒体作り等も含めた事前準備を大切にしています。

◆こころがけていること

当院で提供している地域医療の一端を担っているとの自覚をもち、栄養士として自分にできることは何かを考え、医師や看護師をはじめとした多職種の方と相談しながら日々の業務に取り組むようにしています。

“栄養指導”と聞くと、「難しい」「好きなものが食べられない」等のイメージをお持ちの方もいらっしゃると思います。食事療法は治療の一貫として大切であることをきちんとお伝えしたうえで、食べ

る楽しみも大切にしながら、病気が悪化しない食生活を送っていただけるように…という思いで患者さんと向き合うことを大切にしています。栄養指導の際には一方的な話にならないように、患者さんが話しやすい雰囲気づくりを心がけています。

◆うれしかったこと

最初はどちらかというとなり側から話すことが多かった患者さんが、くり返し関わらせていただく中で、少しずつ質問が増えてきて食事に対する関心をもっていただけたのを感じた時はうれしかったです。

◆今後の抱負

クリニックの栄養士として、いつでも気軽に食事の相談をしてもらえる栄養士でありたいと思っています。そのために、日々自己研鑽を積み、もっともっと工夫して、いろんな角度から食事のサポートができるよう取り組んでいきたいです。



～輝く健康！基礎は栄養～

第20回

「心と体の健康づくり提唱のつどい」開催案内

日にち：令和3年11月23日(火・祝) ところ：さざんか会館

開催方法：対面型とオンライン配信

講演：「新型コロナウイルス感染症対策について(仮題)」

講師：未定

参加費：無料

栄養ケア・ステーション：事前予約にて開催

*詳細は決まり次第鳥取県栄養士会ホームページにてご案内いたします。

生涯教育研修会 開催報告

令和3年9月5日(日) 13:00～16:00 オンライン研修

「子どもの肥満を予防、改善する食生活」～障害特性に応じた個別指導～と題し、大阪母子医療センター栄養管理室室長の西本裕紀子氏にご講演いただきました。

参加者は41名。(株)フードケア様が配信に協力してくださいました。

内容は、原発性肥満(単純性肥満)、二次性肥満(症候性肥満)の違いや、低出生体重児・ダウン症児(DS児)・プラダ・ウィリー症候群児(PWS児)についての肥満予防の症例紹介や、栄養指導における注意点や経験からの提案もありました。

栄養指導は、本人の疾患レベルにもよりますが親に行うことが多いとのことでした。

メタボリック症候群発症リスクが高いことから、肥満は予防が大切であること。

「食べてしまう環境があることが問題で、食べてしまう環境をなくし、適切な食習慣を身に付け、家族で楽しい食生活を送ることが大切」であることを強調されていました。

参加者の方からは、「障害があっても、肥満予防の基本は変わらないことが理解できました。諦めないで根気よく、励まし、ほめて成長を待つことが大切といわれたことが印象に残りました。」「具体的な内容で、実際の指導に活かせる事柄が多々ありました。」といった感想が寄せられました。

オンライン研修については「自宅で研修できる方法ありがたい。」「移動時間なく勉強できたり、家庭で子育てしながらでも参加することができるのでありがたいです。」というご意見がありました。

今後も、生涯教育研修会を計画しています。

10月31日(日)「認知症と食」(仮)

11月27日(土)「高齢者の健康づくり」(仮)

多数のご参加をお待ちしております。

新入会員

前田 美鈴 (東部・公衆)

福市 有香 (中部・医療)

福本 真代 (中部・福祉)

西本三由紀 (中部・勤労)

中井 清恵 (中部・福祉)

前田 夏穂 (西部・医療)

奥田さわみ (西部・福祉)

亀川 祥子 (西部・医療)

野坂 祥子 (西部・在宅)

山本 千尋 (中部・学校)

玉野帆乃佳 (西部・医療)

内藤美智子 (西部・福祉)





鳥取のとり肉は
私たちが検査いほま!

公益財団法人 鳥取県食肉衛生協会 TEL.0859-54-4133 FAX.0859-54-4137
http://www.shokuchyo.org

東洋羽毛 睡眠セミナー無料サービスのご案内

睡眠に関するお悩みはありませんか?
睡眠セミナーを無料で開催しています

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した講師による充実したセミナーをご用意しています。

◆東洋羽毛では研修会や勉強会、学会でのコヒューサービスもご提供しています。

 **東洋羽毛中四国販売株式会社 岡山営業所**
〒700-0845 岡山県岡山市南区浜野4-3-37
～お問い合わせはお気軽に～ フリーコール **0120-224711**



人材確保・コスト削減・満足度向上など
厨房運営における課題解決はナリコマ

オンラインセミナーも開催中! **ナリコマ**

株式会社 **ナリコマ** エンタープライズ 鳥取県担当: 三浦 (080-6135-9766)
岡山営業所 〒700-0977 岡山市北区間屋町26-102 TEL.086-246-3440

鳥取市内で高齢者向け介護予防教室を開講中



明るく・楽しく・元気よく!
株式会社さんびる

さんびる本社: 〒690-0045 松江市乃白町薬師前3番地3
TEL (0852) 26-0335
健康福祉部: 〒680-0044 鳥取市御弓町 2-8
鳥取事業所 TEL (0857) 30-7757



次亜塩素酸ナトリウム6%
【第2種医薬品】
ピューラックス
DISINFECTANT
Sodium Hypochlorite Solution

確実な殺菌力・優れた安定性

山陰オーヤラックス販売株式会社
〒680-0062 鳥取県鳥取市吉方町2丁目521番地
TEL (0857)36-0271
FAX (0857)36-0272

広報部からのお知らせ

鳥取県栄養士会では、公式ホームページで県民公開講座やイベント、各種研修会、栄養ケアステーションなど一般の皆さまや会員に向けての情報発信をしています。栄養や食に関する役立ち情報もあります! 詳細は、検索してご覧ください。

ホームページをリニューアルしました。



令和3年度 第3回 (公社)鳥取県栄養士会理事会報告

日時: 令和3年7月4日 (日)
場所: 鳥取県立倉吉未来中心
出席者: 理事14名 監事2名
議題1: 会務報告
議題2: 各事業部報告
議題3: 会員状況報告

議題4: 令和3年度事業報告について
令和3年度決算報告について
議題5: 令和3年度・4年度専門部の委員について
議題6: 会計システム導入について

以上の議事が承認されました。

事務局だより

※管理栄養士免許取得・氏名、住所、職域、地域などの変更や県外に転出、県外から転入時にはすぐに変更届の提出をお願いします。(様式は栄養士会ホームページにあります)

～管理栄養士・栄養士さんのお誘いをお願いします～
資質向上に向けた研修会や
情報交換・県民の健康支援を一緒にしましょう。

編集後記

栄養士会に入って20年ほど経ちますが情報発信もデジタル化が進んできました。会合、研修もコロナ禍でオンラインとなりました。広報紙の今後を考えると、デジタル化のメリットデメリットを理解して明日へつながる活動が必要だと思います。(文責 奥田)